

鳥取県の未来をつくる

「ふるさとキャリア教育」・「歴史授業」の 文化財活用



鳥取県埋蔵文化財センター
鳥取県立むきばんだ史跡公園
鳥取県教育委員会小中学校課
鳥取県教育センター



学校教育支援プログラム 概要



学校

①地域の遺跡、出土品の教材活用や授業実践についての相談対応

埋蔵文化財センター
むきばんだ史跡公園

- ②専門職員による地域の遺跡、出土品を教材とした出前授業
- ③土器、石器などの出土品の貸出し
- ④埋文センター又は学校保有の出土品を学校内に展示（一定期間ケース付きで貸出し）

センター
むきばんだから
学校へ

学校から
センター
むきばんだへ

- ⑤常設展示の見学（展示は教科書準拠）、石包丁づくりなどの古代生活体験
- ⑥教員向けに地域の遺跡、出土品の授業活用についての講座開催

⑦教員向けの教育センター「学校教育支援サイト」に教材研究用の資料・冊子を掲載

ホームページで



○「学校教育支援プログラム」の利用方法

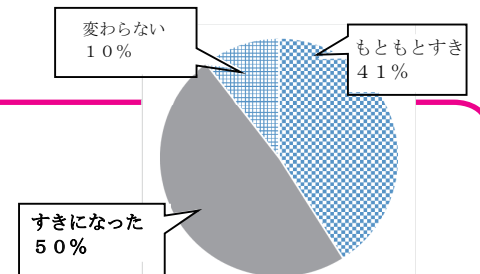
（連絡先：埋蔵文化財センター企画研究担当）

- 1 プログラム①～④：1週間前までに電話・メール等でご連絡ください。
（お急ぎの場合、最短3日前でも対応いたします。）
※特に依頼文等は必要ありませんが、プログラム③④については貸出手続きが必要となります。
- 2 プログラム⑤：当日までに電話・メール等でご連絡ください。
- 3 プログラム⑥：令和3年度開催要項をご覧の上、お申込みください。
（令和2年度3月に開催要項配布予定）
- 4 プログラム⑦：教育センターの「学校教育支援サイト」（c4thと同回線）でご利用ください。

○学校教育支援プログラム活用結果 ※昨年度実施結果

【出前授業後の児童の感想】

- ・身近なところに遺跡があって驚いたし、自分たちの地域が歴史あるところだと思いました。
- ・私たちの町はすごい遺跡がある地域であることが分かり、誇りに思う。
- ・自分たちの地域で教科書に出てくる秀吉との戦いがあったことが分かり、すごいと思った。



〔授業後の児童アンケート結果〕
質問：授業後、歴史の授業が好きになりましたか？

【出前授業後の教員の感想】

- ・授業内容に合わせて、自分も知らない地元の歴史の専門的な内容も盛り込んでもらった。
- ・教員の授業準備の労力が少なく、自分が授業をする際の参考になった。
- ・地域の教材に加え専門家の話で児童の関心意欲がいつもより高く、大変喜んでいました。

児童・生徒の
意欲が高まる
教員の負担軽減にも
つながる

○プログラム②の活用事例

史跡青谷上寺地遺跡を教材にした授業

「むらからくにへ」の学習を地元の遺跡を教材に取り上げて授業実践

◇指導案を提示しての具体的な授業打合せ

【板書計画例】

むらからくにへ

弥生時代の青谷上寺地遺跡の人々の暮らしを予想しよう。



- 海に舟がたくさんある。
- 竪穴住居（家）がたくさんある。
- 高い建物がある。
- 水田がある。





舟 高い建物 水田

①舟で漁をしていた。 ②お米を作っていた。





結合式ヤス 鋤（耕す道具） 大陸製の金属製品

③すばらしい木製品 ④交流を示すもの





花弁高坏 貨幣（貨泉） 勾玉・管玉

【分かったこと】

- 今とかわらないような道具で漁をしたり、お米を作ったりしていた。
- 広い範囲で各地と交流していた。

小学校第6学年 社会科学習指導案

- 本時 むらからくにへ
- 本時目標 弥生時代の青谷上寺地遺跡の人々の暮らしを調べる。
- 学習過程

| 学習活動 | 教師の支援並びに留意点 |
|--|---|
| 1 青谷上寺地遺跡の集落復元イラストを見て、気がついたことを発表する。 ・海に舟がたくさんある。 ・竪穴住居（家）がたくさんある。 ・高い建物がある。 ・水田がある。 (緑色と黄緑色のところがある) | 1 パソコンを使ってイラストを調べる。 イラストが約1800年前の青谷上寺地遺跡の様子を復元したものであることを伝える。 むらや海の様子に注目するよう促す。 |
| 2 青谷上寺地遺跡の集落復元イラストから生活の様子を予想し、発表する。 ・①舟で漁をしていた。 ・②お米を作っていた。 ・③木の製品を上手に作っていた。 ・④いろいろな所と交流していた。 | 2 ①・②の発表に合わせて、ヤス・又鋤の写真を掲示する。その後、③・④に関係する出土品（花弁高坏・雲雲文鏡・貨泉・玉類）の写真を掲示し、すばらしい木製品を作っていたこと、活発に交流していたことを感じとらせる。 |
| 3 弥生時代の青谷上寺地遺跡の暮らしについて分かったことや驚いたことをまとめ、発表する。 ・今とかわらないような道具で漁をしたり、お米を作ったりしていた。 ・広い範囲で各地と交流していた。 | 3 青谷上寺地遺跡の人々が広範囲に各地と交流していたこと、国内だけではなく海外（大陸）のものも多く入手していたことなどを押さえる。 弥生時代のむらのリーダーが交流によりいろいろなものを手に入れ、力を強めようとしたこと、県内に教科書に載っている遺跡と同等の遺跡があることなども押さえる。 |

◇いろいろなパターンの授業

縄文～平安時代のまとめの授業で出土品クイズ



◎教材資料

縄文時代深鉢、弥生時代甕（かめ）・石包丁・鋏
古墳時代甕・竈（かまど）、奈良時代坏・木簡など

地域の出土品を観察して何時代の何の道具かをみんなで予想！
答え合わせで大興奮の授業です。

学習の中で古代の道具や生活の知識がついているか確認できます。

地域の山城を教材に「3人の武将と天下統一」の授業実践



山城合戦の疑似体験で戦国時代にお城が必要だったことを理解



秀吉の鳥取攻めに関係する地域の山城を教材にすることで、戦国時代の天下統一が身近な出来事に！

合戦疑似体験でお城の役割もしっかり理解

地域の本物の出土品を使った授業だからこそ

「主体的・対話的で深い学び」に！！

地元の遺跡を調べるツール
「鳥取遺跡 MAP」

ネットで利用できる「鳥取遺跡 MAP」はタブレット等を使った調べ学習で利用できます。



縄文時代の海進地形など各時代の地形も復元しているマップ

マップ上の遺跡を選ぶと、旧市町村単位で遺跡情報が分かります！

○プログラム④の活用事例

学校にある出土品を教材として校内展示
(展示作業は埋蔵文化財センターが実施)



校区の出土品の校内展示を興味深く観察する児童

ケース付きで出土品を貸出

○プログラム⑤の活用事例

「石包丁づくり体験」



弥生時代の学習で教科書に載っている石包丁をつくる体験です。

でき上がった石包丁で稲刈りをすれば気分は弥生人気分！

○プログラム⑦の事例

「学校教育支援サイト」
(教育センター) 掲載の資料を活用できます。

アドレス：
<http://kyoshien.torikyo.ed.jp/docs/198.html/>

知りたい>>授業に役立つ資料>>社会



- ◎貸出例
弥生土器
土師器・須恵器 (古墳時代)
- ※貸出資料はご希望に合わせて選んでいただけます。

東中部

西部

連絡先

鳥取県埋蔵文化財センター (鳥取市国府町宮下 1260)
TEL: 0857-27-6711
FAX: 0857-27-6712
ホームページ: <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>

鳥取県立むきばんだ史跡公園 (鳥取県西伯郡大山町妻木 1115-4)
TEL: 0859-37-4000
FAX: 0859-37-4001
ホームページ: <https://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/>